

理事長印	校長印	作成者印
		

第1回大学フェア 開催報告書

開催日：2018年4月11日

信男教育学園

上海市文来高校国際部中日班

巻頭言

第1回「大学フェア」を開催しましたところ、各大学をはじめ多くの皆様の参加を得て、盛会裡に終えることができましたことを厚くお礼申し上げます。

「大学フェア」の目的は、日本の大学の特色や入試等について理解と認識を深め、生徒の皆さんの進路意識の向上を図ることを目的として開催するものです。今回説明会に参加いただいた保護者の方々にも、日本の大学の現状や特色等について、十分御理解をいただいたものと確信しております。

御承知のとおり、現在日本の各大学は、ペーパーテストでは測れない学生の様々な能力や個性を評価し、教育や研究を活性化させています。その理由として考えられるのは、少子化の影響などによる「大学全入の時代」を迎えていること。さらに、日本では、ここ数年来、PISAの調査結果などから「学力の向上をいかに図るか」が大きな課題となっているからです。

文部科学省の「学生の学修時間の現状」によれば、1週間当たりの大学生の勉強時間は、講義を除いて10時間以下がおおよそ70%に達しており、また、11時間以上を学習時間としている大学生の数は20%にも満たないと報告があります。このような、大学生の学習時間の不足は、大学教育のみに起因するものではなく、高校時代の学習が大学に入学することが目的となり、入学してからどのような力をつけ、また、どのような人生を歩んでいくのか、将来に対する目的が希薄化しているのも一因ではないかと考えています。

日本への留学を希望する信男生の皆さんには、「大学フェア」をとおして学んだ成果を今後の学校生活に生かしていただくとともに、決して安易に「入れる大学」という観点で進路を選択するのではなく、自身の適性や個性を再確認し、自分自身が就きたい職業は何か、「入りたい大学」に入るためにはどのような力を養うべきかを明確にして、日々の学習に取り組んでいただきたいと思います。

最後になりますが、大変御多用の中、「大学フェア」に御協力いただきました各大学の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本校といたしましては、今後「大学フェア」をさらに充実したものにして参りますので、今後とも本校への御支援御協力をよろしくお願いいたします。

上海文来高校中日班 校長 藤野重雄

○目次

表紙	
1 巻頭言	・P4
2 名称	・P4
3 コンセプト	・P4
4 中日班の特徴と、本企画実施の背景	・P4
4-1 アンケート結果	
4-2 卒業生の進学大学一覧	
4-3 各メリット	
5 開催時情	・P7
5-1 参加学生数	
5-2 参加保護者数	
5-3 開催スケジュール	
5-4 開催当日スケジュール	
5-5 参加大学	
5-6 第1部	・P8
5-6-1 発表大学	
5-6-2 各大学の主な発表内容	
5-6-3 第1部総括	
5-6-4 学生の感想	
5-7 第2部	・P10
5-7-1 参加大学	
5-7-2 訪問者数	
5-7-3 ブースにて主に出た質問	
5-7-4 第2部総括	
5-7-5 学生の感想	
5-8 アンケート結果	
6 今後の取り組み	・P14
7 協力	・P14
8 担当者	・P14
9 謝辞	・P14
10 写真	・P15
10-1 第1部の様子	
10-2 第2部の様子	
<付属1> フライヤー (日文・中文)	
<付属2> 事前アンケート	
<付属3> 当日アンケート (大学用・学生用)	

2. 名称

「第1回文来高校 大学フェア」

3. コンセプト

「本校と日本の大学とのコネクションを強化するとともに、学生に大学という存在を身近に感じてさせ、早期から進学に関する関心を育成する。」

文来高校国際部中日班の3年生課程併設にあたり、高校の出口の強化を図る必要がある。その糸口として、多くの大学との関係性を作ることが、本併設の拡充に繋がると考えられる。そこで本企画（大学フェア）を実施することで、大学・弊社・学生にメリットをもたらすことができる。



4. 中日班の特徴と、本企画実施の背景

我が校の国際課程は、初代の国際課程試験校として上海市教育委員会の許可を受けている。在籍しているすべての学生は上海高校の学籍を持っている。教育課程は2+1.5方式と言い、国内（上海）で2年間在学期間中に国語・政治・歴史・地理の4科目を合格した者は、上海市高校学業卒業証書（国際課程）を得ることができるカリキュラムである。よって、1年次・2年次は上海で日本語と必須履修科目を履修し、3年次は日本の姉妹校に2年生後期の課程から編入するカリキュラムを実施している。編入後の1.5年は、我が校と姉妹校関係にある高校を卒業することになる。

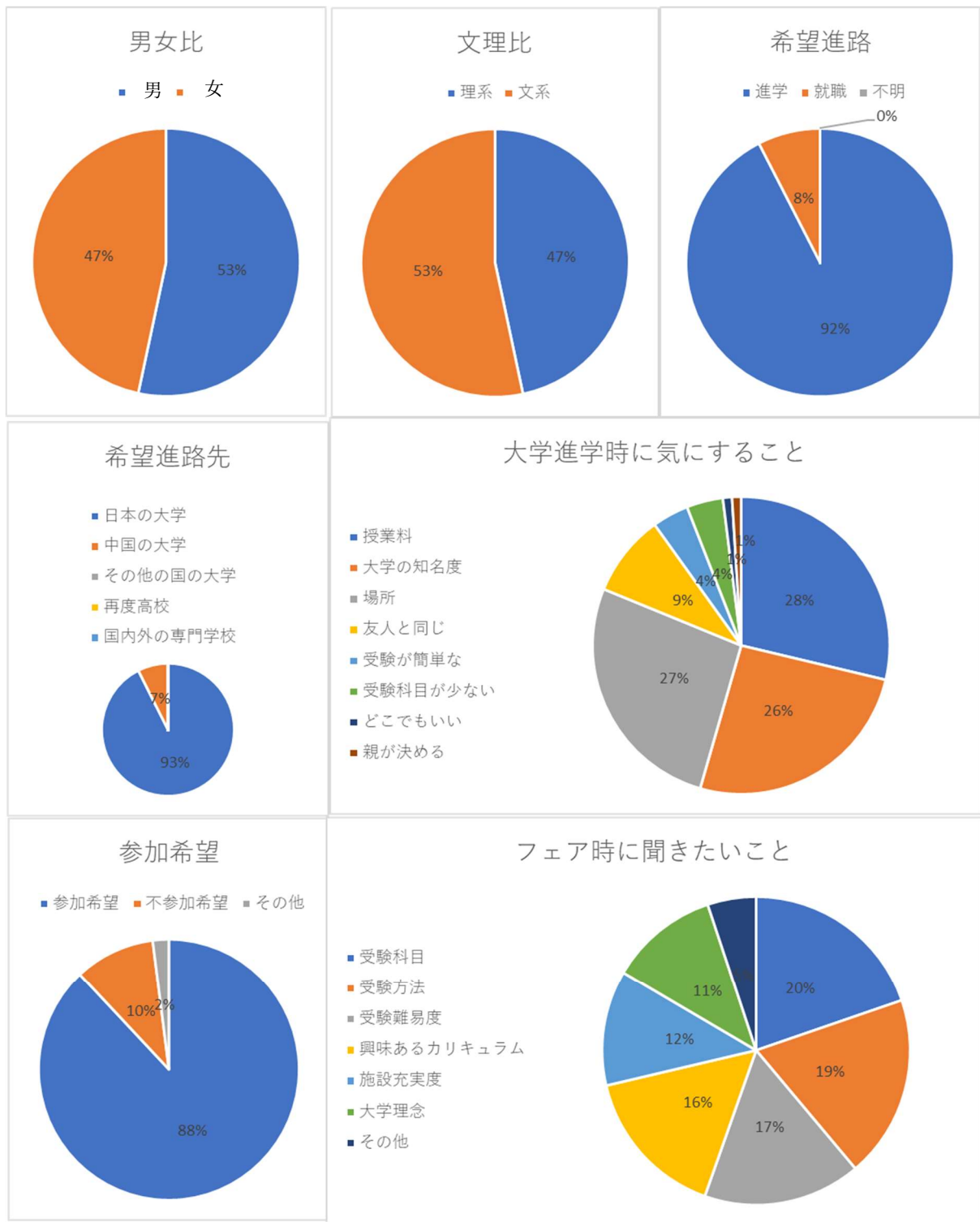
卒業生の多くは、日本の大学へ進学するが、現在、大学の情報に触れる機会は、高校3年生（日本）の進路指導の場でしかなく、ほとんどの学生はもっと早い時期から大学に関して関する情報が必要と考える。さらに、2018年9月より3年制のクラスを設置する予定であり、今後進路保証の充実を図るとともに、高大接続を拡充していく必要がある。

（詳しくはHP参照：<http://www.xinnan.org/>）

4-1 事前アンケート実施結果

実施者数：文来高校国際部中日班2年生 60人、対象者：60人、実施日：2017.12.27

結果：本校学生の約9割が日本の大学について、多くのニーズを感じていると同時に、様々な情報の提供を求めている。



4-2 卒業生の進学大学一覧（過去実績）（順不同）

杏林大学	工学院大学	駒澤大学
明海大学	東京工芸大学	東洋大学
神奈川工科大学	桜美林大学	芝浦工業大学
立命館 APU	専修大学	近畿大学
立命館大学	日本大学	東京薬科大学
拓殖大学	津田塾大学	京都外国語大学
立教大学	法政大学	東京理科大学
恵泉女子学園大学	千葉工業大学	大阪産業大学
亜細亜大学	東京工芸大学	城西大学
工学院専門学校	東邦大学	上智大学
九州産業大学	九州大学	同志社大学
文教大学	東京造形大学	桃山大学
産業能率大学	明治学院大学	名古屋造形大学
目白大学	金沢工業大学	慶応義塾大学
文化学園大学	大東文化大学	関西大学
東京理科大学	神田外語大学	

4-3 各方面のメリット

本学のメリット	参加大学のメリット	学生のメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校 3 年生課程の併設に向けて出口の強化 ・ 各大学との連携と接続の強化 ・ 生徒の学習動機と意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期から外国人人材を確保できる。 ・ 中国人学生への大学情報の提供 ・ 上海市の高校生への広報活動の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学情報の獲得 ・ 進路設定や入試について早期から関心を持てる。 ・ 受験方法や受験区分（留学生枠など）について直接大学と相談できる。

5. 開催時情報

5-1 参加学生数： 上海市文来高校国際部中日班 120 名（1 年・2 年）

5-2 参加保護者数： 74 名（在学生の保護者に限る）

5-3 開催スケジュール（2018 年実施）

日時	項目
12 月 1 日	立案
12 月 15 日	企画書作成
3 月 1 日	協力大学（21 校）へ依頼メール送付
3 月 19 日	協力大学からの参加返答締め切り
3 月 29 日	参加大学リスト確定＋実施要領の送付
4 月 11 日	大学フェア実施
4 月 27 日	開催後の報告と学生からの感想共有

5-4 開催当日スケジュール

時刻	事項	場所	備考
14:30	開始		
14:50～16:20	第 1 部	教学楼 4 階	各校発表時間 15 分
16:30～17:45	第 2 部	図書館棟各教室	各ブース相談
18:00	終了		

5-5 参加大学数

8 校（うち 2 校は資料参加）（順不同）

大学名	来校者 所属／役職／氏名	備考
筑波大学	中国事務所 王太芳 先生	
名古屋大学	中国交流センター 王俊婷 先生	
立教大学	中国事務所 宋丹 先生	
京都造形芸術大学	中国上海事務所所長 劉昊星 先生	
大阪市立大学	大阪市上海事務所大阪市立大学担当 呉宇先生	
中部大学	工学部副学部長 幅上茂樹 先生 中国連携推進室担当課長 小島千草 様	
大阪大学	上海教育研究センター 陳 先生	資料参加
愛知大学		資料参加

5-6 第1部

第1部では、参加大学の6校が、各発表15分の中で、主に以下の項目についてPPTで発表した。大学紹介をとおして、短時間で大学の概要や創立理念をはじめ、基本的なカリキュラムから独自に展開しているプログラムなど、様々な情報に触れる有意義な機会となった。

5-6-1 発表大学（発表順）

1	 筑波大学 University of Tsukuba
2	 名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY
3	 立教大学 RIKIKYO UNIVERSITY

4	 京都造形芸術大学 学校法人 瓜生山学園 KYOTO UNIVERSITY OF ART & DESIGN
5	 大阪市立大学 OSAKA CITY UNIVERSITY
6	 中部大学

5-6-2 各大学の主な発表内容

- ▶ 外国人留学生が受験可能な入試情報
- ▶ 大学の特徴とカリキュラムなど
- ▶ 今年の夏季に予定しているオープンキャンパスやオープンカレッジの案内や日程
- ▶ 在籍している中国人留学生の人数とその学部
- ▶ 学生生活など



5-6-3 第1部総括

第1部では、各大学15分という短い時間で、大学紹介を行っていただいた。短時間であったが多くの大学について基本的な部分を知ってもらうには十分な時間であったと考えられる。その意味では、まず第1部で大学について興味を持ってもらい、第2部でその大学のブースへ足を運ぶ「きっかけ作り」という点においては流れのある企画になったと言える。

また、外国人留学生の受験可能な入試情報などを直接中国語での説明を受けたことは、大学ホームページ（日本語）を自ら調べるなど各大学への関心を高めることにつながった。

とくに、この夏に行われるオープンキャンパスや公開授業の日程の紹介は、今後姉妹校へ編入するために日本へ渡航する学生たちにとって貴重な情報となりえた。これを機会に直接大学のキャンパスへ足を運ぶ学生が増えることも予想される。

5-6-4 学生の感想

第1部の発表では、6つの名門大学からわざわざ上海文来高校までお越しいただき、説明会を開いていただき、それぞれの大学の情報を教えていただきました。大学への進路がまだ漠然としている私ですが、大学について理解を深めることができました。

特に、立教大学の観光学部に興味を持ちました。なぜなら、中日の関係は、観光を通じて益々親密化しております。世界経済にとって、観光業は重要視されています。私はグローバル社会で活躍できる国際人を目指しており、立教大学の観光学部で学ぶことができれば、将来の目標に近づけると思います。



(文来高校国際部中日班1年 羅愛夏)



第1部の発表では、各大学の特色だけでなく、日本の各地域の特色も知ることができました。紹介した6大学で、私は特に立教大学と京都造形芸術大学に興味を持ちました。この2つの大学の先生は限られた「有限」の時間内で、大学の「無限」な魅力を伝えられたのはとても学ぶことが多かったです。

立教大学はQ&A形式を用いて、立教の知名度や学部などを紹介されました。一方、京都造形芸術大学はいくつかの独創性のあるビデオと巧みに作られたPPTを使って、豊かな大学生活や入学方法などを紹介されました。どちらの発表も有意義で大変役に立ったと思います。

(文来高校国際部中日班2年 鄭凱倫)

5-7 第2部

第2部では、参加大学の8校が各ブースを出し、パンフレットや募集要項、およびPPTやムービーなどを用いて、1対1で相談できるコーナーを設置した。学生たちは大学ブースへと自由に足を運び、おのおのが持つ興味関心、そして入試方法についての相談をした。

また、資料参加の大阪大学と愛知大学は、資料コーナーを設置し、大学紹介のパンフレットを配置し完配した。



5-7-1 参加大学

1	筑波大学
2	名古屋大学
3	立教大学
4	京都造形芸術大学

5	中部大学
6	大阪市立大学
7	大阪大学
8	愛知大学

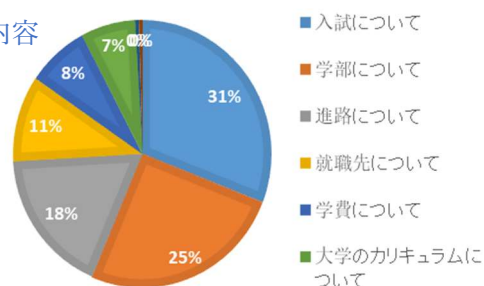
5-7-2 訪問者数（累計）

約150名（重複あり）

5-7-3 ブースにて主に出た質問と相談内容

- 入試について
- 学部について
- 進路について
- 就職先について
- 学費について

Q:今回、一番知りたかった内容はどんな内容ですか？（複数回答可）



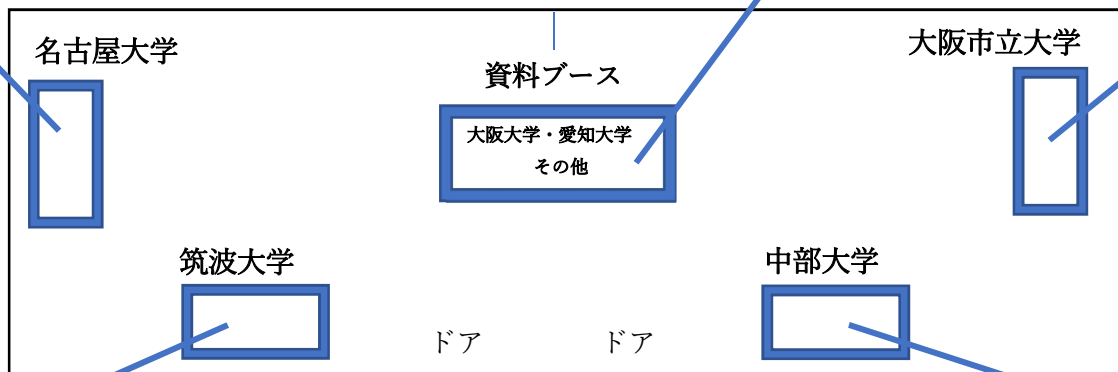
5-7-4 第2部総括

第2部では、参加が任意であるのにも関わらず多くの学生が、様々な疑問を抱きながらブースへ向かい、大学担当者の話を熱心に聞く様子が多く見られた。元々、大学の教員に接する機会が少ないうえ、国内にいて日本の大学に対するイメージが掴みにくい点などが、見られた状況だろうと推測する。それを裏付けるように、開催後のアンケート結果が占めるデータ（後述）は、「満足度を教えてください。」の質問に対して、回答者の97%が満足か普通と回答した。

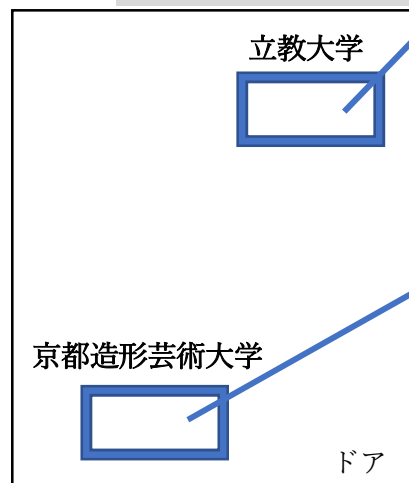
さらに、質問した内容には、「入試について」「学部について」が特に多かった点から、本大学フェアのコンセプトと、学生が抱くニーズが一致していたことが窺われる。

最後に、日頃からの興味を持っている分野が大学でいうところのどの学部で学べるのかという疑問や、外国人留学生であることを踏まえた大学の入試方法や種類について、そして大学の魅力について学生の母国語である中国語で聞けることに大きな価値があると感じた。

第2部 ブース配置図 (図書館棟2階 2年教室)



第2部 ブース配置図 (図書館棟1階 理科系教室)



5-7-5 学生の感想

第2部のブースで、一番興味を持った大学は立教大学でした。この大学は、校内試験がない点が大変惹かれました。留学生試験の成績がとてもよかったが、目指す大学の試験で失敗した人がたくさんいます。マッチングの一環として、立教大学はその試験がないとブースの説明で聞きました。文系の私にとって、選択できる学部も多いので、大変いい大学だと思いました。



(文来高校国際部中日班2年 李惟肖)



第2部のブースで、一番興味を持った大学は、京都造形芸術大学でした。この大学は、学部が独特で、地理位置もいいところが大変魅力的でした。

元々、私の一番好きな場所は京都で、この大学は京都にあるし、さらに芸術大学です。もしかしたらここが私の夢を叶えられる大学ではないだろうかとは考えました。

私の目標は、服装かアクセサリーのデザイナーになることです。そのため、京都造形芸術大学のような大学に入るのは不可欠な条件の一つだと思います。

(文来高校国際部中日班2年 王嘉怡)

5-8 アンケート結果

アンケート回答者数 96名（男子41名、女子54名、不明1名）

アンケート実施日：開催日

Q:興味のある理由はなんですか？
(複数回答可)

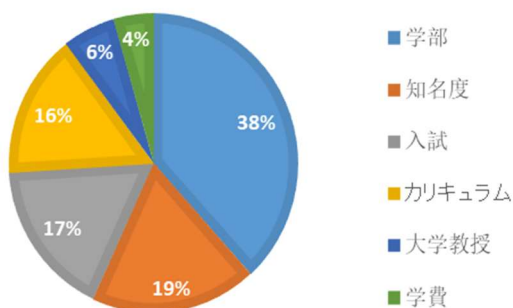


表 1

Q:本大学フェアで知りたいことは
知れましたか？

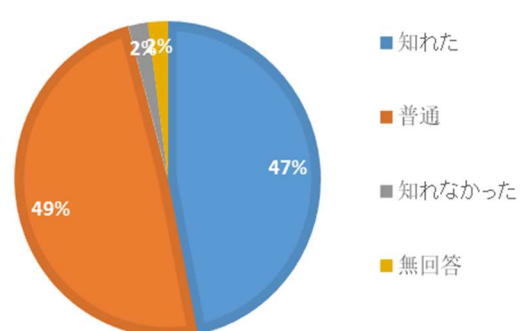


表 2

Q:どれが一番ためになりましたか？

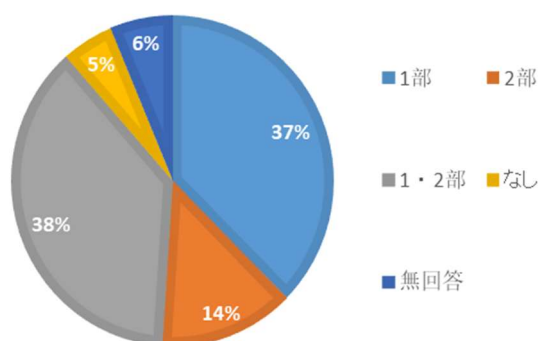


表 3

Q:本大学フェアの満足度を
教えてください。

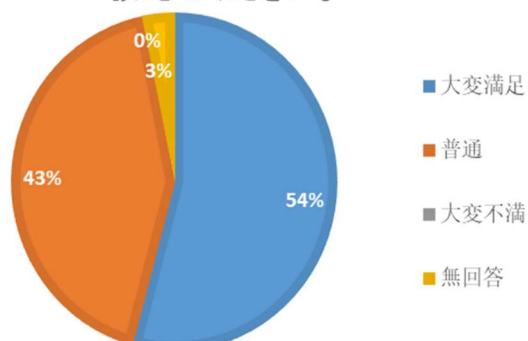


表 4

Q:今回、一番知りたかった内容は
どんな内容ですか？(複数回答可)

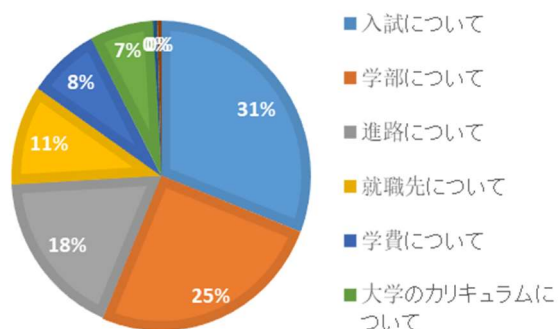


表 5

Q:保護者と一緒に参加しましたか？

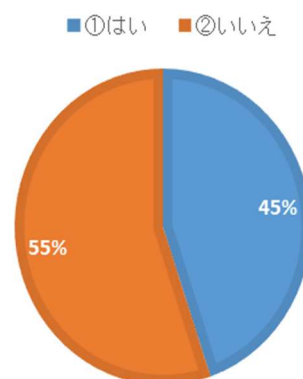


表 6

6. 今後の取り組み

事後アンケートをとおして、本実施に対する改善点がいくつか挙がった。これらを踏まえて、2019年も今年開催同様に第2回大学フェアを実施予定である。なお開催時期は2019年3月下旬もしくは4月初旬の予定である。規模は1.5倍程度の拡大を図り、更なる参加協力大学を募る予定である。

7. 協力：日本国駐上海総領事館・筑波大学・名古屋大学・立教大学・京都造形芸術大学・大阪市立大学・中部大学・大阪大学・愛知大学（順不同）

8. 担当者：

信男教育学園 文来高校国際部中日班
榊原敬治 Keiji Sakakibara
上海市闵行区虹莘路 2166 号文来高校图书馆二楼
Email:sakakibara@xinnan.org
Tel:021-5416-8735

9. 謝辞

本大学フェアを開催できたことは、多くの方の賛同と協力があったからゆえのことである。特に日本国駐上海総領事館の担当者には、上海市に事務所を置く日本の大学へのコンタクトはじめ、連絡先の収集やアドバイスなど多くの協力をいただいた。

そして、今回来校していただき、多くの文来高校の学生へ夢と希望を与えてくださった各大学の先生方に多大なる感謝の意を表したい。

最後に、本企画の準備・開催中はもちろんのこと、日頃から支援をしてきていた文来高校の教職員の皆様に感謝するとともに、これからも本校と本校の学生が国際社会において活躍することを願っている。

作成日時：2018年4月27日

作成者：信男教育学園 上海市文来高校国際部中日班

榊原敬治

10. 写真

10-1 第1部の様子



▲藤野校長による開会の挨拶



▲京都造形芸術大学先生の発表



▲名古屋大学先生の大学紹介・発表



▲大阪市立大学先生の大学紹介・発表



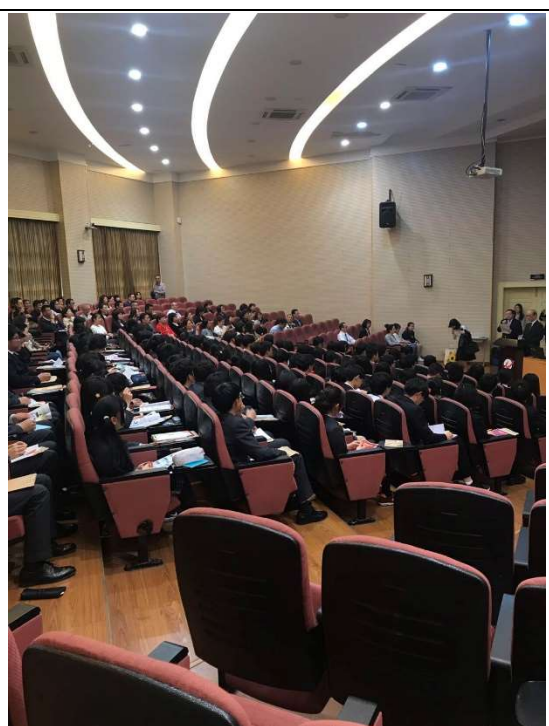
▲発表を聞く学生たち



▲筑波大学先生の大学説明と発表



▲中部大学先生の大学説明と発表



▲発表を聞く学生たちと保護者



▲立教大学先生の発表



▲大学先生の発表の日中通訳

10-2 第2部の様子









<キャプチャー>

- 1 枚目～2 枚目：資料ブースの様子
- 3 枚目～6 枚目：立教大学ブースの様子
- 7 枚目～10 枚目：京都造形芸術大学ブースの様子
- 11 枚目～14 枚目：名古屋大学ブースの様子
- 15 枚目～18 枚目：筑波大学ブースの様子
- 19 枚目～22 枚目：大阪市立大学ブースの様子
- 22 枚目～24 枚目：中部大学ブースの様子
- 25 枚目：ポスター・フライヤー
- 26 枚目：大学先生方の集合写真

文来高校 第1回大学フェア



筑波大学
University of Tsukuba



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY



愛知大学
AICHI UNIVERSITY



中部大学
CHUBU UNIVERSITY



学校法人 瓜生山学園
京都造形芸術大学

日時: 4月11日(水) 場所: 文来高校

1部: 14:50~16:20 教学楼 4F

2部: 16:30~17:45 図書館楼 2F

プレゼン型式
ブース形式

対象: 中日班1年・2年生、保護者(希望者のみ)
及び日本留学に興味のある学内学生

主催: 信男教育学園・上海市文来高校国際部中日班

協力: 日本国駐上海総領事・

筑波大学・名古屋大学・大阪大学・

大阪市立大学・立教大学・愛知大学・

中部大学・京都造形芸術大学(順不同)

文来高校 第一回大学展



筑波大学
University of Tsukuba



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY



愛知大学
AICHI UNIVERSITY



中部大学
CHUBU UNIVERSITY



学校法人 瓜生山学園
京都造形芸術大学

日期:4月11日(星期三) 地点:文来高中

第1部分:14:50~16:20 教学楼4F 阶梯教室 说明会形式

第2部分:16:30~17:45 图书馆楼1F·2F 展台形式

对象:中日班1年·2年生、家长(只限预约者)以及对日本留学有兴趣的校内学生

主办:信男教育学園・上海市文来高校国際部中日班

协办:日本国駐上海総領事・

筑波大学・名古屋大学・大阪大学・

大阪市立大学・立教大学・愛知大学・

中部大学・京都造形芸術大学(順不同)